



阪神大震災における
児童会募金

九品仏小学校同窓会だより

◎ 同窓会設立

十周年に向けて

副会長 佐原 學

わが同窓会は、平成九年に設立十周年を迎えることとなります。発足以来奥沢はじめ全国に存住の会員の方々の心強い励ましと、力強い支援、数々の貴重なご意見等を頂きながら、一步一步確かな歩みが続けることが出来、十周年というひとつの節目を二年後に迎えられる喜びでいっぱいです。

十周年に向けて同窓会は、同窓生の親睦だけではなく、卒業生を育てはぐくんできた町「九品仏」そして卒業生、在校生がお世話になっている地域へ小学校と共に、同窓会がささやかな御礼の気持ちを表わすためにどのように関わられるかを大切に考え活動し、地域との心のふれ合いを目指しています。

末筆になりましたが副会長として永年ご尽力頂いた宮本忠氏が十周年を迎えることなく他界されましたこと誠に残念でなりません。

No.8
7.5.20
発行

世田谷区奥沢八十二ー一
世田谷区立九品仏小学校同窓会
TEL 〇三三七〇三〇四五八
発行人 会長 富田 浩司

H.7.4現在
同窓会員総数
4591名

◎ 年度総会のお知らせ

平成七年度総会を左記にて開催します。
総会に引き続き懇親会を予定しております。軽い飲み物等を用意しておりますのでぜひご参加下さい。

記

日時 六月十八日(日)午後一時～
場所 九品仏小学校

尚、四十二期生の皆さんには、卒業アルバムの配布があります。

慎んでご冥福をお祈り申しあげます。

尚、小学校同窓会担当の先生が替りました。

曾田 千津子先生 三年一組担任

|| 副会長 宮本 忠氏を悼む ||



九品仏小学校第三期卒業生で、全校同窓会の副会長でいられた、宮本忠氏には、数年来、病氣療養中の処、平成七年二月十七日、ご逝去されました。享年五十一才でした。

宮本氏は十数年前、本校同窓会の発足準備会当時から、ご本務ご多忙の中、本会のために多大なご尽力をいただきました。同窓会が今日、その基礎を確かなものとし、他校にはない活動実績を持つ独自の会として成長出来たのは、宮本氏のご貢献に拠る処が極めて大きく、茲に宮本氏を失うことは、わが同窓会にとって、まことに痛惜の極みであります。宮本氏は、この九品仏の街に生まれ育って五十余年、母校九品仏小学校に熱い想いを寄せ、同輩後輩達へ広く深い愛情を持つ方でした。これから、より一層、その穏やかでユーモアを持ち、誰からも信望を集める人柄と能力で、ご活躍頂けると期待していただだけに、残念でなりません。

しかし、残された私達は、宮本氏の志を受けて、これからの同窓会の一層の充実と発展に全力を注ぎたいと思います。
同窓会員各位に、つつしんでお知らせする

と共に、改めて心からの哀悼の意を表わし、ご冥福をお祈り申し上げます。
(会長 富田浩司記)

● 母校の近況

同窓会担当教諭 金子 武將
(H6年度) 中山美貴子

校庭で遊ぶ子ども達の声が一段とはずんでいます。小さいけれど池ができて可愛い小魚が水をきり、ふり返ると百葉箱、花をいっぱいのごかせたレンガの花壇、ベンチでひと休みもできます。バスケットゴールも数を増し、校庭の整地もしっかりできました。子ども達だけでなく、私達も土のぬくもりを肌で感じ心が伸びやかになるのがわかります。屋上のフェンスからは「九品仏小学校」の文字が光を浴びて温かく見つめていてくれます。



ランチルームでの食事風景

レーの手作りの回収ポストを置き、リサイクル運動を進める一方、地域の清掃やユニセフ募金、阪神大震災の義援金など、自分達でできることに積極的に取り組む姿が見られます。平成七年度九月からはコンピュータが授業の中に取り入れられ、専門の教室が設けられます。校舎の中からキーをたたく音が聞える日まであとわずかです。

子ども達の数が増減傾向にある今、一人一人を大切にしていけるのはもちろん、異学年との縦のつながり、級友との横のつながり、社会の一員としての地域とのつながりの大切さを痛感しています。豊かな心、健康な身体を育み明るい笑い声が満ちるような学校作りに心を合わせる今日この頃です。

通信欄

○ 一期生 滝本(現姓小林) 近子

同窓会だより、お送り頂きありがとうございます。
四十以上の前のことが、懐かしく思い出されます。
(横浜市在住)

○ 四期生 山本 武彦

同窓会の大切な業務の一つに、卒業生の住所の確認があります。新聞等に「目立

「つ」記事を載せては如何ですか。あらゆる手段で住所確認をするため、同窓会のお金を使うのに異論はないと思います。

(世田谷区在住)

○七期生 鈴木(現姓外山) 真佐子

七期のみなさん同期会を開きませんか。最新の名簿を預かっています。いつでもご連絡ください。

☎三七二九一六二三四 (大田区在住)

○十期 米山 寛

昭和三十二年から三十五年までお世話になった竹中みつる先生の近況がわかり、大変うれしく思いました。(大宮市在住)

○十九期 小栗(現姓佐藤) 典子

小学校の同窓会事務局がある事を初めて知りました。当時の友人とは現在交流がないので、是非今後機会があればと願っています。(川崎市在住)

○二十期 宮田(現姓枝吉) 千尋

九品仏小学校を卒業後、八幡中学一年時に九州に転校し、それ以来九品仏小学校とは全く縁がなく、二十数年ぶりの会報で驚きと嬉しさでいっぱいでした。

同窓会だよりを懐かしく拝見させていただきました。二十期生や、あの頃いらした

た先生方はお元気なんでしょうか。

(横浜市在住)

○三十二期 出口 登

昨年初めて同窓会の年度総会に顔を出させて頂きました。実は、私たち三十二期生は卒業してから一度もクラス会を開いておりません。もしクラス会、同期会をやるようでしたら、幹事の松村君か、水越君のお母様にでも連絡をお願いします。(世田谷区在住)

○三十七期 山口 三奈

同窓会だより、ありがとうございます。会報発送の宛名書き、お手伝いさせていただきます。(世田谷区在住)

クラス会だより

第十三期生の同期会報告

十三期 若井 秀之

平成六年の年も押し詰った師走の十八日、九品仏小学校卒業以来、二十八年ぶりの同期会を三子玉川富士観会館にて開催しました。

あいにく都合が悪かったり、長い年月の間



に音信不通になり出席できない仲間もいたが、一組担任の山下豊子先生、二組担任の兼弘昭一先生夫妻をはじめ総勢三十三名も集まり、盛況な会になりました。

兼弘先生は、ご体調

がすぐれない状態ではありましたが、先生は皆に会うのを楽しみにしておられるとのこと、無理を押ししてご出席頂き、一同、大変嬉しく、同時に感激いたしました。

また、山下先生は、大変お元気で、お若く、昔を彷彿させて頂き、お陰で、我々も小学校時代に戻った気分にならせて頂きました。

会の始めには、正直いって名前と顔が一致しない人も多く、卒業後の流れた歳月を感じましたが、話すうちに昔の姿とだぶり、童心に還った楽しい時を過ごす事が出来ました。子育て最中の女性陣も、忙しい中、十二名も

参加し、お陰で華やかな会となりました。会は、先生方に感謝と今後の健康を祈って花束を贈呈の後、記念写真を撮り、二次会に移り、その後は、昔の友人同士で、夜の巷に消えて、楽しかった同窓会を終えました。

今回、残念ながら参加できなかった人達も、写真で、小学校時代を思い出してもらえたら幸いです。懐かしい顔もあるでしょう。是非次回も参加して旧交を温めましょう。

次回の、外川、清都、若井の迷幹事トリオで行いたいと思います。皆さんよろしくお願ひします。

最後に、十三期の方々、又、他の期の方も、写真の顔を街で見かけたら、是非声を掛けて下さい。それでは、次回までの一時のお別れとさせていただきます。

十四期の同期会

荒木(旧姓平沢)祥子

当日は雨でした。百十四名中八十五名の住所が分かり十七名出席という、寂しい結果となりどんな同期会になるのか、はらはらしましたが、三組の渡辺先生のお手紙に、「たとえ参加者は少なくても、集まる人たちの友情の濃さがうれしいね」という言葉を胸に、当日を迎えました。一組の桐原先生は御逝去なされていて、二組の山本先生は住所不明、三組の渡辺先生はお仕事で欠席と先生不在の同期



会となりましたが、懐かしい顔にそれぞれ思い話に花が咲き、楽しい時間がアツという間に過ぎました。

人生八十才として、折り返し地点の四十才。皆それぞれに、自分をみつ

直す「時」を感じました。男性は仕事の事で壁にぶつかる年代(?)。女性は早く結婚出産された方だともうこどもが二十才位になり、社会人になっている方もいたりして。(もちろん、まだまだ幼い子がいらっしやるかたもいます)色々な人生に接する機会が持てて、とても有意義な時間でした。皆がどうしているか、懐かしい顔が見たいばかりに同期会を開きました。これからは定期的に続けて行こうと思っています。

十八期生のクラス会を開きました

十八期 中島(旧姓原本)好枝

第十八期六年二組のクラス会は、昨年七月九日に自由ヶ丘で開かれました。



生をお迎えして、総勢二十二名で、賑々しく始めました。初めは、みんなの顔がすぐには分からず誰だろうかと首をかしげていましたが、……いつの間にか小学校時代に戻っている話題の数々。いっぺんにタイムスリップした様で、みんなの気持もあの時のようで、楽しいひとときを過ごすことができました。

小野先生とは、九品仏小の四十周年記念パーテ

イの時にお逢い出来、「今度せひクラス会を！」とお話をさせて頂き、思いがけず、こんなに早くみんなに会うことができました、心からうれしく感謝しています。おいで下さった方々、本当にありがとうございます。また次の機会を楽しみにしております。

二十一期一組のクラス会

倉島 成典

私たちのクラス会は、皆結束が固く、特に



三十才を過ぎたこの数年間は異様な盛り上がりを見せています。数年前のある一人のスピーチ幹事のデビューの徹底的な発掘作業が行われたのです。私も世田谷区のイエローページにて発掘された

クーコに感謝!

こうして三年前に何と三十四人中二十八人が集まるというクラス会が催され、二年後の昨年十一月にも開催されました。運営は前述のクーコが永久幹事で毎回の幹事は男女一人づつの持ち回り、次回開催日を必ず決めてから閉会する事になっています。

さて、皆三十過ぎて自由ヶ丘に集まって何をするかと申しますと、これがたいへん。

一次会は居酒屋系で済ませた後バブやカラオケBOXでの歌会、バーでの座談会は序の口、何と深夜のお寺(もちろん浄真寺)でカン蹴り、熊野神社で肝だめし大はしゃぎ(神主さんに怒鳴られ皆一目散に逃げた)などで盛り上がり、最後は一人で生息している、大学で助教授をしている斎藤氏の家で、カップラーメン付の夜明けのコーヒを味わった後、大井町線のお迎えが来る、といった具合です。さらに、皆で母校を訪れ何と二十一年ぶりに音楽の赤松先生にお会いできたり、懐かしの体育館でバスケットやったりと、皆小学生にタイムスリップ状態といったありさまで。このように語るとキリがないほど皆それぞれに九品仏小時代を振り返り、楽しんでおります。今でも温かく見守って下さる吉田先生と同窓の皆様益々のご繁栄をお祈りいたしております。

三十八期クラス会

平成六年四月十七日に、玉田先生を囲んでクラス会を開きました。急な知らせと高校生活がスタートしたばかりだったので、参加者は十六名とやや少なめでしたが、三年ぶりという人も参加してくれて、高校生活のことに花を咲かせたり、体育館で遊んだり、教室を見てまわったり楽しく過ごしました。

教室にガストープや特別教室にエアコンが入っていて、自分達の時代とは違って設備が良くなったのにはびっくりしました。

今迄は多くが八幡中だったのでクラス会はやりませんでした。これからは、一、二年に一度はクラス会を開きたいと思っています。そして一人でも多くの参加を願っています。



先生・職員の方々からの

メッセージ

① 九品仏小学校で一番の思い出

② 近況

③ 教え子・卒業生への一言メッセージ
(敬称略)

碓井 恒夫 (第十代校長) H33.7

「感謝！感謝の四年間」

私は、九品仏小学校に感謝あるのみです。在職中に四十周年という節目に出会い、「子どもが主役！未来にはばたけ九品仏」というスローガンのもとに、子ども中心の記念式典・記念事業ができました。富田浩司会長を中心とした同窓会の方々の全面的な協力をして頂きました。また、四十周年を記念して丸山延子教頭・上原行義教頭の努力で教職員の同窓会「九友会」が発足し、九品仏で在職した教職員全員の名簿も完成しました。さらに、区教委のご尽力で、北川フェンスや門扉・体育館の床・給食室・校庭・屋上フェンス改修、冷暖房施設・教育相談室・花壇理科観察園・遊園地設置と環境も整いました。子どもたちがますます

す主役になるようにと、平成七年度から区の奨励校として研究も進めます。

本当に全ての方に支えられ、ひたすら感謝する四年間でした。有難うございました。

平間 壽一 S27.37

① 昭和27年設立当時の九品仏小は、若葉色の校舎に赤いバラの花いっぱいいの夢の学校であった。

故湯浅校長の教育目標は「ヒントあわせて」のただ一つ。実に意味深である……。

教育委員会としても、新設校としては異例の優秀な教師陣を揃えたことも当時定評であった。ウソじゃないぞ！

校長はひまで(専ら?)バラの手入れとニワトリの世話と万葉集に精進。教師らは週休一日で、あとはバカみたいに、よりよい教育を模索し、がんばってたな。カアちゃんたちも全面協力。もんくつける人なんかいなかった。PTA会長が、作家の石川達三氏で、恐ろしいせいもあったのか、模範的なPTAだったなあ。

だから、姿も内容も何をやっても世田谷No.1だったと自負できるよ。

ホラでないことは、当時の卒業生たちが今、証言に立ってくれるはずだ。

② 私の近況は、細々と人形づくり、それだけ。

③ 九品仏小よ、永遠に夢の学校であれ!!

大和 利子 S27.37

① 第二次大戦の名残りを校舎の隅々に残した八幡小に赴任してから六年目。校舎からあふれんばかりの子供達に少しでも良い環境をとの人々の願いをこめて創立されたのが九品仏小学校でした。また校舎も出来あがらない頃、初代の湯浅校長先生のお供をして銀座のヤマハ楽器店で、その頃玉川地区の学校のどこにもなかったグラランドピアノ(セミグラランドでしたが)を購入することになった時、九品仏小に寄せる、区、地域の方々の熱意を改めて強く感じさせられました。

全てがゼロからのスタート。伝統や歴史も自分達が作り出していくという気持や経験が、その後の私の学校生活の折々に大変役に立ちました。

② 九品仏小を去って三十三年。健康であればこそこの思いが身にしみること頃です。

③ 九品仏小学校で学んだ皆さんが、心も身体も健康に恵まれ、和と笑顔を大切にしながら日々をお過ごし下さる様、心から願っております。

鈴木 宣雄 S32.43

① 私がお世話になった頃は、都内転居が自由になった事で都内の人口が急増した時代でした。特に世田谷区では倍近い人口増で

校舎の増築が追い付かず、32年に入ると(私が九品仏小に勤めた年)更に第二次ベビーブームも加わり、再び二部授業を各校で余儀なくされました。九品仏小では、当時の東側の校舎が少し広がったので、一年の一、二組で二部授業を行ないました。遅番(十時始まり)の子が窓からのぞいている中で授業、早番の授業が終わると待ちこがれていたようになだれこんでくる遅番の子供達でした。

学芸会、音楽会は体育館はなく、二階の打抜教室で行ないました。若い力、不便が山積していました。しかし、今の環八通りの桜並木のお花見、多摩川の土手のバツタ追い等、楽しさも一ぱいでした。

② 九品仏小時代は、私の生涯では子育ての時でもありました。長男が就学する年、また一年を担任しました。以来11年間の九品仏小で五回、一年を担任しました。その長男も、今ドイツの日本人学校に勤務し次男も社会人になって独立しています。

退職して12年、齢も古稀をクリアしました。自作の立びなで初孫の節句を祝い、今また、ウサギ、ロバ、アヒルと木彫の動物園を製作中。

③ 健康第一。

三輪 ハルエ S 37〜50

今年も九品仏の校庭の桜が見事に咲いてい

ることでしょう。昭和50年に学校を去って、ちょうど20年。ずっと専業主婦を続けております。

「まだ生きてたのー」と言われそうです。当然のことながら高令ともなると、心身ともに動きがにぶくなり、気持はあせっても足腰が重く痛みますので、長生きするのは難儀なこと、楽でないことが分ります。

しかし、私の周りには高令の方も沢山見られます。私もまだ寿命を大切に、与えられた使命を果すよう頑張る積りです。

九品仏の優秀な卒業生の皆さん。御自分と共に御家族を大事にして、明るく活気のある平和な世の中を築いて下さい。

西脇 すゑの S 41〜57

① 春の遠足、夏の日光林間学校、三浦の臨海学校等には、必ず付添って参りました。数々の思い出の中で、日光の林間学校の時に、真夜中に高熱を出したお子さんを町の病院に連れて行くために、暗闇のいろは坂を自動車で降りた時の恐ろしかったことを思い出すことがあります。

② 今は三人の孫の喧嘩の仲裁に忙しい日々を送っております。自分の呆け防止のために役立っております。

同窓会だよりは、とても懐しく拝見しております。纏め役はとても大変なことですが、何時までも続けて下さいますようお願い

いたします。

岸本(旧姓木田)靖子 S 44〜55

① にわか先生劇団「モスラ座」を結成し、七夕集会で何回か影絵をやったこと。

九品仏小学校は、教師生活のスタート地点でした。学生気分のぬけないまま、毎日が夢中で楽しく過ぎていきました。みなさんに、何を教えたかより、自分がそこで学んだことが思い出され、それで今の私が、存在しているのだと思っています。

② 九品仏小学校のあと、地之上小、そして今は、区役所に近い山崎小学校に勤務しています。興味あることは尽きず、疲れる疲れるといいながら、子供達との出会いや出来事を楽しんでいます。

③ 仕事や家庭等で、色々なことに出会った時、ちょっと見方を変えようと、面白くなったり楽しくなったりするものです。ある一方からだけ見続けることも必要ですが、ふっと裏側へ、横へまわって見るゆとりを持つて下さい。

森 秀善 S 50〜61

早いもので、九品仏小学校を転出して平成七年度で10年目になります。この間、同窓会から近況をとご連絡を頂きながら、今になり申し訳ありませんでした。

私は、九品仏小学校に11年間お世話になり

ました。この間にプールの改築、図書室、視聴覚室の増築、そして校庭の改修等々施設面での改善があり、思い出の多い学校です。しかしそれ以上に、子供達の輝く瞳とご家庭の皆様の温かさが、今でも強く思い起こされます。

なかでも、子供達への思いは強く、私が風邪気味だった時に、自分のカーディガンを私の肩にそっとかけてくれた一年生の優しさが、そしてそのほかの子供達が心配そうに私を見つめ励ましの言葉をくれたこと等、私の心に温かい思い出として残っています。この子たちのために頑張らなければと改めて感じたときでした。

ですから、九品仏での11年間は、私にとって教師としての大切な心得を、再度子供達やご家庭の皆様方に教えて頂いたと感謝しております。

今、私は、品川区の大原小学校におります。九品仏と同じ大井町線の戸越公園駅の近くの小学校です。近くにお越しの節はお立寄り下さい。

最後になりましたが、同窓会の役員の方々の献身的な運営に感謝を申し上げ、九品仏小の同窓会が益々発展することを祈って筆を置かせていただきます。

水島 裕代 S 54〜62 家庭科担任

① 幼い頃に過ごした思い出の多い九品仏の

小学校に勤務できたことを、とても幸福に思っています。PTAにも知人がいたり友人子供がいたり、とても楽しく勤務することができました。

学校の30周年記念事業で、六年生全員で校歌を一人一文字ずつ刺しゅうしました。みんなびっくりするほど熱心でした。不得意な子には終わった子供がきつききりで助けていました。何とか出来上がり、大きな額に納めて、現在も体育館に飾ってありますが、それを見るたびに、その時の六年生の助け合っていた姿が昨日のように懐しく思い出されます。

② 退職して7年経ちました。退職後にいろんな病気を経験し落ち込んだ時もありましたが、どうやら元気になりました。この頃は、お茶とお花を教えたり、京都の黄檗山万福寺で催されるお茶会に出ることを励みにして頑張っています。

③ 助け合うということが、益々大切になってきます。今回の阪神大震災でも、いかに助け合うことが大切が見直されていますが、日頃から友人同志でも助け合うことを心掛けるようにして下さい。

山下 ふさこ S 55〜H 3

① 素直で裏表のない子供達と学校中の先生や主事さん方、また保護者の方々が仲良しだった九品仏。思い出す度に胸の中がほん

わかとあったまります。ありがとうございます。

② 今、品川の大原小学校まで大磯から二時間の通勤、三年目。70分×二倍が自分の自由時間です。かわいい子供達と日々頑張っています。

③ 素直な気持があれば必ず見えてくると思っています。そして感謝の心と思っています。

福島（旧姓堀川）恵理 S 57〜63

① ふいに皆の顔を思い出したり、色んな場面が胸に去来します。

思い出の中の皆に、元氣と語りかけます。どんなに時が移ろうと、あのひたむきな眼差しと陽溜りの様な柔らかな微笑はきっと皆のものでしょう。

思い出は多過ぎて……

② 二児の母となり、育自（×児）のまっ最中。大阪、浜松と移り住み、これから何処へ行くのやら。多くの場所、人々に巡り会えるのが楽しみです。

③ 失敗やつまづきこそが大事なものだと思っています。そこで何かを掴みとり、優しさを持つて一歩を踏み出していききたいと思ひます。

玉田 一美 現職

① 大きなイベントが大好きなので、運動会、そのうら節や応援団、学芸会の海の歌、卒

業事業の壁画作り、その他色々な場面で派手ににぎやかにやりまくったことでしょうか。(いろいろやったね)

みんな良く持ち役を心得ていて、自主的にやり抜きました。終わった後、みんなで「チャチャチャン、チャチャチャン、チャチャチャン……」と手打ちをした時の充実感が、実によかったです。

② 九品仏小での5回目の、そして最後の卒業生を送り、「我ながらよくやってきたなあ」と感慨にふけたのも束の間、今は一年生と(笑うな!)ドタバタとやっています。知っての通りの性格なので、結構大変ですが(勿論相手の一年生も)、そこは良くしたもので、十数年ぶりのチビッ子にハッスルして毎日新鮮な気持を味わっています。でも笑顔のつくりすぎと腰をかがめる姿勢で、顔と腰がマヒしそう……。

③ 「真実を鋭く見つめ、ひるまず追求し、勇気をもって行動する」これにつきます。私は、チャレンジ精神と言いましたが、未来を、そして社会をしっかり見すえながら、不断の努力を続けて下さい。私もがんばります。

石塚 英夫 現職

今年は激動の時代でした。阪神大震災、地下鉄サリン事件、円高、打ち続く歴史の大きな波は私たちを飲み込んで地底に押しつ

ぶそうとしています。

このうねりをたくましく乗り切っていかなければなりません。そのためには感覚をすくどくして、何が世もので、何が本物かよく考えていかなければなりません。自分の頭でしっかり思考できる人間になっていきましよう。

上原 行義 H417 第十二代教頭

「今、子供たちに育てたい力」

現代の青年達の特徴の一つは、決められた事には従順で、やる事はとてもスマートだが決して自分達の考えで進めようとしなない点があげられます。そして小学生にも同様な特性が見られます。九品仏小学校では子供達に自ら考え行動する力と意欲を育てたいと考え、授業や行事などあらゆる機会を通して意識的に取組んできました。

全校遠足や地区班活動など縦割りの活動を計画し自分達でやらざるを得ない機会を多く設定しています。又、子供達の活動時に、何をどの様にしたら良いか、やり方や材料の情報は提供するが、何をするか判断や役割分担は自分達でやる様にしています。例えば手際が悪くても出来栄がまずくとも失敗したとしても、その事こそ、たくましい力と意欲を育てる事が出来る大切な教育活動であると考えからです。

平成六年度 同窓会収支明細

収 入			支 出		
科 目	金 額	摘 要	科 目	金 額	摘 要
前 期 繰 越 金	1,537,990	64名	通 信 費	288,000	会報送付切手代
42 期 生 入 会 金	64,000		消 耗 品 費	33,135	
維 持 費	585,323		交 通 費	1,400	会 報
利 息	8,601		印 刷 費	82,400	
			備 品 費	5,180	
			議 事 費	14,774	
			会 外 費	35,303	慶弔費
			総 務 費	46,503	
			小 計	506,695	
			次期繰越	1,689,219	
合 計	2,195,914		合 計	2,195,914	

次期繰越金内訳 とみん銀行 212,686円
郵便貯金 1,476,533円

平成6年度会計収支決算書の監査を実施したところ、適正かつ正確であることを認めます。
平成7年4月10日 同窓会会計監査 福井 郁子◎
田中 雅子◎

